

令和4年度 男女双方の意識改革に係る調査業務報告書

2022年6月17日
Rakuten Insight, Inc.

目次

I.調査設計	2
II.回答者属性	4
III.対象者プロフィール	
Q3 未既婚	8
Q4 世帯構成	8
Q1 現在の就業状況	9
Q5 共働き状況	9
Q2 ご自身の年収	10
Q2 世帯年収	10
IV.まとめ	11
V.結果の詳細	
1. 性別に関する意識	
Q6 性別に関する意識の影響度	15
Q7 性別の意識に影響された経験	16
Q8 性別意識に影響された場面	17
Q9 性別意識に影響された経験理由	18
2. 男女共同参画に関する意識	
Q10 男女の地位の平等感	20
Q11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」への意見	22
Q12 女性が職業を持つことに対する意見	23
Q13 男女の役割に対する意見	24
3. ワークライフバランスについて	
Q14 現在の「仕事」「家庭生活」「自由時間」の優先度	27
Q15 理想の「仕事」「家庭生活」「自由時間」の優先度	29
Q16 現実と理想のギャップの理由	31

I . 調査設計

調査設計

調査目的	令和3年3月に「わたらしい生き方応援プラン」（男女共同参画基本計画（第5次））において、成果指標として設定した、「性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できていると感じる人の割合」の現状値を把握するとともに、施策を適切に実施していくため、県民の「性別に関する意識」や「男女共同参画に関する意識」などの状況を把握する。
------	--

調査地域	広島県
調査手法	インターネット調査
調査対象者	【本調査】 広島県民である15～69歳の男女
サンプルサイズ	【本調査】 合計 1,000ss
調査期間	2022年5月25日(水)～6月3日(金)

(前回) 調査期間	2021年5月24日(月)～5月31日(月)
-----------	------------------------

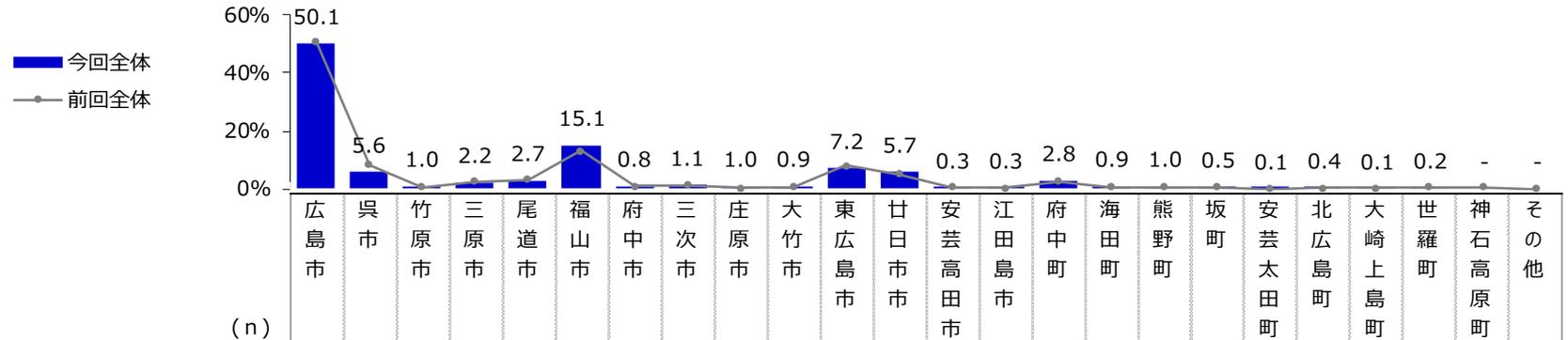
Ⅱ. 回答者属性

※数表内の網掛け
※ n = 30未満は網掛けせず

-  全体値より20pt以上高いもの
-  全体値より 10pt以上高いもの
-  全体値より 10pt以上低いもの
-  全体値より20pt以上低いもの

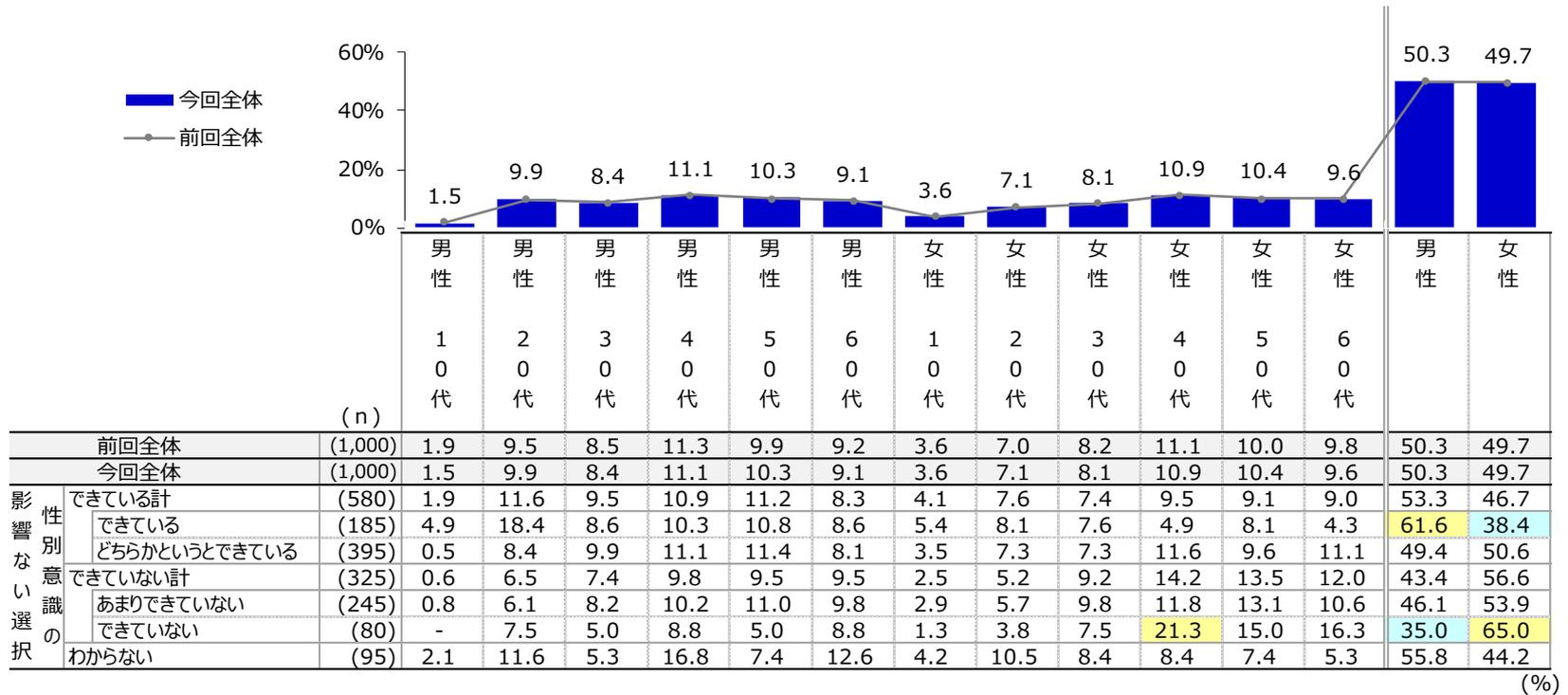
居住地

SC1.あなたのお住いの市町はどちらですか。(SA)



		(n)	広島市	呉市	竹原市	三原市	尾道市	福山市	府中市	三次市	庄原市	大竹市	東広島市	廿日市市	安芸高田市	江田島市	府中町	海田町	熊野町	坂町	安芸太田町	北広島町	大崎上島町	世羅町	神石高原町	その他
前回全体		(1,000)	50.9	8.4	0.6	2.4	3.1	13.1	1.0	1.2	0.2	0.6	7.8	4.9	0.4	0.1	2.3	0.6	0.5	0.6	-	0.2	0.3	0.4	0.4	-
今回全体		(1,000)	50.1	5.6	1.0	2.2	2.7	15.1	0.8	1.1	1.0	0.9	7.2	5.7	0.3	0.3	2.8	0.9	1.0	0.5	0.1	0.4	0.1	0.2	-	-
性別	男性	(503)	51.1	5.4	1.4	2.2	1.6	15.7	0.4	1.2	1.4	1.0	7.4	5.4	0.4	0.2	2.8	0.6	0.8	0.6	0.2	0.2	0.2	-	-	-
	女性	(497)	49.1	5.8	0.6	2.2	3.8	14.5	1.2	1.0	0.6	0.8	7.0	6.0	0.2	0.4	2.8	1.2	1.2	0.4	-	0.6	-	0.4	-	-
年代別	10代	(51)	45.1	3.9	-	2.0	7.8	13.7	-	-	-	2.0	13.7	5.9	-	-	2.0	2.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-
	20代	(170)	52.4	6.5	1.8	1.8	2.9	12.4	-	0.6	1.2	0.6	10.6	4.1	0.6	0.6	1.8	1.2	0.6	0.6	-	-	-	-	-	-
	30代	(165)	47.3	5.5	1.2	1.2	2.4	17.0	1.2	1.8	0.6	0.6	5.5	5.5	0.6	-	4.8	1.8	1.8	0.6	-	0.6	-	-	-	-
	40代	(220)	45.5	3.6	0.9	4.1	2.7	15.5	1.8	1.4	1.8	1.8	9.5	7.7	-	-	1.8	0.9	0.5	0.5	-	-	-	-	-	-
	50代	(207)	56.5	4.3	1.0	1.4	2.4	14.5	-	1.0	0.5	1.0	3.4	6.8	0.5	1.0	2.9	0.5	1.0	0.5	-	0.5	-	0.5	-	-
	60代	(187)	50.3	9.1	0.5	2.1	1.6	16.6	1.1	1.1	1.1	-	5.3	3.7	-	-	3.2	-	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	-	-
影響ない選択の	できている計	(580)	51.9	5.7	1.0	1.9	2.6	12.9	0.5	1.0	0.7	1.0	8.3	6.2	0.2	0.3	2.8	0.7	1.0	0.3	0.2	0.5	0.2	-	-	-
	できている	(185)	53.0	7.0	1.6	4.3	2.7	9.7	-	-	1.1	2.2	8.1	4.3	0.5	-	3.8	0.5	-	0.5	-	0.5	-	-	-	-
	どちらかというとき	(395)	51.4	5.1	0.8	0.8	2.5	14.4	0.8	1.5	0.5	0.5	8.4	7.1	-	0.5	2.3	0.8	1.5	0.3	0.3	0.8	-	-	-	-
	できていない計	(325)	49.5	5.8	1.2	2.5	2.5	17.2	0.9	0.3	0.9	0.9	5.8	5.5	0.6	0.3	3.1	0.6	1.2	0.3	-	0.3	-	0.3	-	-
	あまりできていない	(245)	48.6	6.1	1.2	2.9	2.4	15.1	0.4	0.4	1.2	1.2	6.5	6.1	0.8	0.4	3.3	0.8	1.6	0.4	-	-	-	0.4	-	-
	できていない	(80)	52.5	5.0	1.3	1.3	2.5	23.8	2.5	-	-	-	3.8	3.8	-	-	2.5	-	-	-	-	1.3	-	-	-	-
わからない	(95)	41.1	4.2	-	3.2	4.2	21.1	2.1	4.2	3.2	-	5.3	3.2	-	-	2.1	3.2	-	2.1	-	-	-	1.1	-	-	

性年代



(%)

Ⅲ. 対象者プロフィール

※数表内の網掛け
※ n = 30未満は網掛けせず

-  全体値より20pt以上高いもの
-  全体値より 10pt以上高いもの
-  全体値より 10pt以上低いもの
-  全体値より20pt以上低いもの

未既婚／世帯構成

未既婚は、「未婚」32%、「既婚（配偶者有）」57%、「既婚（離死別）」9%。

▶ 性別意識の影響ない選択では、『できている』は「未婚」、『できていない』は「既婚（配偶者有）」がそれぞれ全体を10pt以上上回る。

世帯構成では、「ひとり暮らし」19%、「夫婦」21%、「夫婦と子」40%、「その他」20%。

▶ 性別意識の影響ない選択では、『できている』は「ひとり暮らし」、『できていない』は「夫婦と子」がそれぞれ全体を10pt以上上回る。

Q3.あなたは結婚されていますか。(SA)
Q4.あなたの世帯構成を教えてください。(SA)

		未既婚			
		未婚	既婚 (配偶者有)	既婚 (離死別)	その他/ 答えたくない
		(n)			
前回全体		(1,000)	31.7	58.9	7.9
今回全体		(1,000)	31.9	57.2	9.4
性別	男性	(503)	34.4	57.7	6.4
	女性	(497)	29.4	56.7	12.5
年代別	10代	(51)	98.0		
	20代	(170)	68.2		28.8
	30代	(165)	30.3	60.6	7.3
	40代	(220)	23.6	65.5	10.0
	50代	(207)	17.4	67.6	13.5
	60代	(187)	8.0	74.3	16.0
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	33.3	58.8	6.9
	できている	(185)	45.4	47.0	5.4
	どちらかというとき	(395)	27.6	64.3	7.6
	できていない計	(325)	24.6	61.8	13.5
	あまりできていない	(245)	27.3	58.0	14.7
	できていない	(80)	16.3	73.8	10.0
わからない	(95)	48.4	31.6	10.5	9.5

※2%未満は非表示 (%)

		世帯構成				
		ひとり暮らし	夫婦	夫婦（または自分） と子	その他	
		(n)				
前回全体		(1,000)	19.1	21.2	39.3	20.4
今回全体		(1,000)	19.1	21.2	39.8	19.9
性別	男性	(503)	20.5	18.7	41.6	19.3
	女性	(497)	17.7	23.7	38.0	20.5
年代別	10代	(51)	25.5	27.5	47.1	
	20代	(170)	35.3	10.0	26.5	28.2
	30代	(165)	13.9	12.7	50.9	22.4
	40代	(220)	15.0	10.0	58.6	16.4
	50代	(207)	16.9	28.5	40.6	14.0
	60代	(187)	14.4	49.7	22.5	13.4
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	21.0	23.3	37.2	18.4
	できている	(185)	29.2	21.1	27.6	22.2
	どちらかというとき	(395)	17.2	24.3	41.8	16.7
	できていない計	(325)	14.2	19.7	47.1	19.1
	あまりできていない	(245)	15.5	19.6	44.1	20.8
	できていない	(80)	10.0	20.0	56.3	13.8
わからない	(95)	24.2	13.7	30.5	31.6	

※2%未満は非表示 (%)

現在の就業状況／共働きの状況

現在の就業状況は、「正社員・正職員」47%と最も多く「有職計」は74%。

▶ 性別では、女性の「有職計」は63%と男性を23pt下回る。「正社員・正職員」は26%で、「パート・アルバイト」が28%と多い。

既婚者の共働き状況は、「共働き世帯」が57%と「共働き世帯でない」を15pt上回る。

▶ 年代別では、20～50代の現役世代は「共働き」が6割を超えるが、60代は「共働き世帯でない」が7割弱を占める。

▶ 性別意識の影響ない選択ができているほど「共働き」の割合が高く、『できていない』では7割を超える。

Q1.あなたの現在の就業状況・形態は次のどれですか。(SA)

Q5. 共働き世帯ですか。(SA)

		職業								有職計					
		正社員・ 正職員	契約社員・ 契約職員・ 嘱託	派遣 社員	パート・ アルバイト	自営業	学生	無職	その他						
前回全体		(1,000)	47.9		4.6	15.4	4.3	7.1	17.7	2.5	72.7				
今回全体		(1,000)	46.5		4.7	16.9	4.3	7.0	16.4	2.4	74.2				
性別	男性	(503)	67.2						4.4	5.8	7.0	5.4	7.6	85.5	
	女性	(497)	25.6	5.0	2.4	28.2		8.7		25.4		3.2	62.8		
年代別	10代	(51)	96.1								3.9				
	20代	(170)	62.9						2.4	8.8	11.2	10.0	77.1		
	30代	(165)	64.8						2.4	15.8		10.3	86.7		
	40代	(220)	55.0						5.5	2.3	20.0	3.2	11.4	85.9	
	50代	(207)	46.4						2.4	21.7	8.7	15.9	2.9	81.2	
	60代	(187)	17.6	12.3	20.3	7.0			38.5		2.7	58.3			
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	49.3						4.8	15.7	4.0	8.8	12.6	2.9	75.7
	できている	(185)	49.7						3.2	14.1	3.8	14.6	7.6	3.8	74.1
	どちらかというとき	(395)	49.1						5.6	16.5	4.1	6.1	14.9	2.5	76.5
	できていない計	(325)	43.4						5.2	20.9	4.6	3.1	20.6	75.4	
	あまりできていない	(245)	45.3						5.3	20.0	4.9	3.7	18.8	76.7	
	できていない	(80)	37.5						5.0	23.8	3.8		26.3	71.3	
	わからない	(95)	40.0						2.1	3.2	10.5	5.3	9.5	25.3	4.2

※2%未満は非表示 (%)

有職計は「正社員・正職員～自営業」

※既婚かつ世帯構成で「夫婦」選択者ベース

		共働き状況		
		共働き世帯である	共働き世帯でない	
前回全体		(541)	55.6	44.4
今回全体		(535)	57.4	42.6
性別	男性	(274)	60.6	39.4
	女性	(261)	54.0	46.0
年代別	10代	(0)		
	20代	(47)	63.8	36.2
	30代	(96)	68.8	31.3
	40代	(136)	61.0	39.0
	50代	(130)	66.9	33.1
	60代	(126)	32.5	67.5
性別意識の影響ない選択	できている計	(318)	62.3	37.7
	できている	(77)	71.4	28.6
	どちらかというとき	(241)	59.3	40.7
	できていない計	(190)	52.1	47.9
	あまりできていない	(133)	53.4	46.6
	できていない	(57)	49.1	50.9
	わからない	(27)	37.0	63.0

※2%未満は非表示 (%)

個人年収／世帯年収

個人年収の平均は331万円。前回調査に比べ12万円減少。

- ▶ 性別では、男性の平均462万円に対し、女性は平均190万円と差が大きい。
- ▶ 性別意識の影響ない選択ができていいるほど個人年収の平均は高くなっている。

世帯年収の平均は597万円。前回調査に比べ17万円減少。

- ▶ 性別意識の影響ない選択では、『できていない』で平均674万円と高くなっている。

Q2-1.あなたの収入の状況をお教えてください。(世帯ではなく、あなた自身の年収をおおよそでお教えてください。)(SA)
Q2-2.あなたの世帯年収の状況をお教えてください。(個人の年収ではなく、世帯の年収をおおよそでお教えてください。)(SA)

		個人年収							加重平均	世帯年収							加重平均			
		(n)	50万円未満	~100万円未満	~150万円未満	~250万円未満	~500万円未満	~750万円未満	~1,000万円未満	1,000万円以上 わからない/ 答えたくない	(n)	250万円未満	~500万円未満	~750万円未満	~1,000万円未満	1,000万円以上	わからない/ 答えたくない	(n)		
前回全体		(1,000)	13.2	8.5	7.4	10.3	25.3	13.5	4.6	2.9	14.3	342.2	(1,000)	11.0	22.6	24.5	15.3	7.6	19.0	613.8
今回全体		(1,000)	13.1	10.8	5.4	10.4	26.6	11.8	5.0	2.2	14.7	330.5	(1,000)	9.6	25.8	21.8	14.0	6.5	22.3	596.7
性別	男性	(503)	6.6	4.4	7.2	35.6		20.1	8.7	4.2	12.1	461.5	(503)	7.2	26.4	23.9	16.1	9.7	16.7	639.0
	女性	(497)	19.7	17.3	9.7	13.7	17.5	3.4	17.3			189.7	(497)	12.1	25.2	19.7	11.9	3.2	28.0	547.1
年代別	10代	(51)	39.2			25.5	3.9	25.5				119.1	(51)	15.7	17.6	17.6	3.9	43.1		674.1
	20代	(170)	8.2	10.0	11.8	42.4		5.3	17.1			316.0	(170)	10.6	30.6	21.2	10.0	5.3	22.4	553.6
	30代	(165)	9.7	7.3	4.8	12.1	36.4		13.3	4.8	9.7	355.0	(165)	8.5	29.7	24.2	16.4	5.5	15.8	594.2
	40代	(220)	13.6	8.6	6.8	9.5	24.5	15.9	8.2	2.3	10.5	365.7	(220)	9.1	21.4	27.3	15.5	6.8	20.0	624.3
	50代	(207)	11.1	10.1	7.7	8.2	19.8	16.9	10.1	14.5		376.8	(207)	8.2	20.8	20.3	19.8	9.2	21.7	657.7
	60代	(187)	15.0	13.9	6.4	13.4	19.8	8.6	3.7	19.3		273.0	(187)	13.9	31.6	16.6	6.4	5.9	25.7	517.6
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	11.4	10.9	5.0	10.9	27.1	13.3	5.9	2.1	13.6	345.6	(580)	11.2	24.1	23.3	16.7	5.9	18.8	599.4
	できている	(185)	12.4	10.8	5.4	9.7	28.6	10.3	5.9	3.8	13.0	351.5	(185)	11.4	25.9	18.4	16.8	8.6	18.9	609.8
	どちらかというのでできている	(395)	10.9	10.9	4.8	11.4	26.3	14.7	5.8	13.9		342.9	(395)	11.1	23.3	25.6	16.7	4.6	18.7	594.5
	できていない計	(325)	14.5	11.7	6.8	9.8	26.5	10.5	4.3	2.5	13.5	314.7	(325)	4.9	28.3	22.8	12.0	8.0	24.0	619.3
	あまりできていない	(245)	13.1	11.4	6.9	10.2	26.9	10.6	4.2	4.4	14.3	318.2	(245)	6.1	29.0	22.0	11.8	6.9	24.1	601.3
	できていない	(80)	18.8	12.5	6.3	8.8	25.0	10.0	0.5	0.2	5.1	304.2	(80)	26.3	25.0	12.5	11.3	23.8	674.2	
	わからない	(95)	18.9	7.4	3.2	9.5	24.2	7.4	2.1	12.1	25.3	286.5	(95)	15.8	27.4	9.5	4.2	25.3	37.9	480.1

※2%未満は非表示 (%)

※2%未満は非表示 (%)

IV. まとめ

まとめ

性別意識に影響された選択の有無

性別意識に影響されることなく、働き方や暮らし方の選択を「どちらかという」とも含めた「できている計」は58%であり、「できていない計」(33%)を大きく上回る。

- ・ 属性別では、「できている計」は男性、20代以下で6割以上と高め。一方、「できていない計」は、女性、40代以上で3割台後半と高め。

実際に性別意識に影響された選択の経験者は全体の3分の1を占める。

- ・ 属性別では、女性、10代で経験率が4割を超えて高い。
- ・ 性別意識の影響のない選択が『できていない』回答者では経験率が6割弱で、『できている』回答者の経験率(22%)を大きく上回る。
- ・ 性別意識の影響のない選択には、過去の経験が大きく影響している様子が見える。

性別意識に影響された選択経験

性別意識に影響された場面の上位は、「家事・育児・介護の負担」「就職」。

- ・ 属性別では、女性、60代、性別意識の影響のない選択の『できていない』回答者で「家事・育児・介護の負担」が4割を超え高くなっている。

性別意識に影響された理由は、「社会一般の意識が変わっていない」が最も高い。

- ・ 属性別では、20代以下、性別意識の影響のない選択の『できている』回答者で、「社会一般の意識」が6割を超え高い。一方、高年代、性別意識の影響のない選択ができていないほど、「周囲の人の意識」「自分自身の固定的な意識」が高くなる傾向。

まとめ

男女共同 参画意識

**男女地位の平等感は『学校教育』を除き、男性優位との意見が多数派。
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えには「反対計」が6割弱を占め、女性が職業を持つことへは8割弱が賛成している。**

一方、男女の役割については、『家計を支えるのは男性の役割』は5割弱が肯定。

『育児休業は女性が取得したほうがよい』は肯定派と否定派が4割半ばで拮抗。

- ・ 性別では、男女地位の「男性優位」、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」への反対意見、男女の役割に対する否定意見とも、男性より女性で高くなっている。
- ・ 年代別では、女性が職業を持つことへの賛成意見は高年代ほど高いものの、家事や育児等の男女の役割に対する肯定意見も高年代ほど高く、性別による役割意識の根深い様子がうかがえる。

ワーク ライフ バランス

現在の生活の優先度は男性は「仕事」、女性は「家庭生活」が最も高い。

理想では「自由時間」が増加し、「仕事」「家庭生活」「自由時間」の差が縮小。

- ・ 現在の優先度は、男性、40～50代では「仕事」、女性、性別意識の影響のない選択が『できていない』回答者では「家庭生活」が中心。
- ・ 理想では、男性、20～50代で「仕事」が減少し、「家庭生活」「自由時間」が増加。女性、性別意識の影響ない選択の『できていない』回答者では「家庭生活」が減少し「自由時間」が増加。

V. 結果の詳細

1. 性別に関する意識
2. 男女共同参画に関する意識
3. ワークライフバランスについて

性別に関する意識の影響度

性別に関する意識に影響されことなく働き方や暮らし方を選択できている（「できている計」）は、全体の58%。

- ▶ 性別では、女性よりも男性で「できている」が高くなっている。
- ▶ 年代別では、若いほどできている割合が高く、10代では「できている計」が7割弱を占める。

Q6.あなたは、現在、「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識に影響されことなく、働き方や暮らし方を選択できていると感じますか。(SA)

		(n)	できている	どちらかというどできている	あまりできていない	できていない	わからない	できている計	できていない計
前回全体		(1,000)	22.0	37.9	21.9	8.5	9.7	59.9	30.4
今回全体		(1,000)	18.5	39.5	24.5	8.0	9.5	58.0	32.5
性別	男性	(503)	22.7	38.8	22.5	5.6	10.5	61.4	28.0
	女性	(497)	14.3	40.2	26.6	10.5	8.5	54.5	37.0
年代別	10代	(51)	37.3	31.4	17.6	11.8	68.6	19.6	
	20代	(170)	28.8	36.5	17.1	5.3	12.4	65.3	22.4
	30代	(165)	18.2	41.2	26.7	6.1	7.9	59.4	32.7
	40代	(220)	12.7	40.9	24.5	10.9	10.9	53.6	35.5
	50代	(207)	16.9	40.1	28.5	7.7	6.8	57.0	36.2
	60代	(187)	12.8	40.6	26.7	10.7	9.1	53.5	37.4
性別 別 意識 の 選 択	できている計	(580)	31.9	68.1				100.0	0.0
	できていない計	(325)		75.4		24.6		0.0	100.0
	わからない	(95)			100.0			0.0	0.0

※2%未満は非表示 (%)

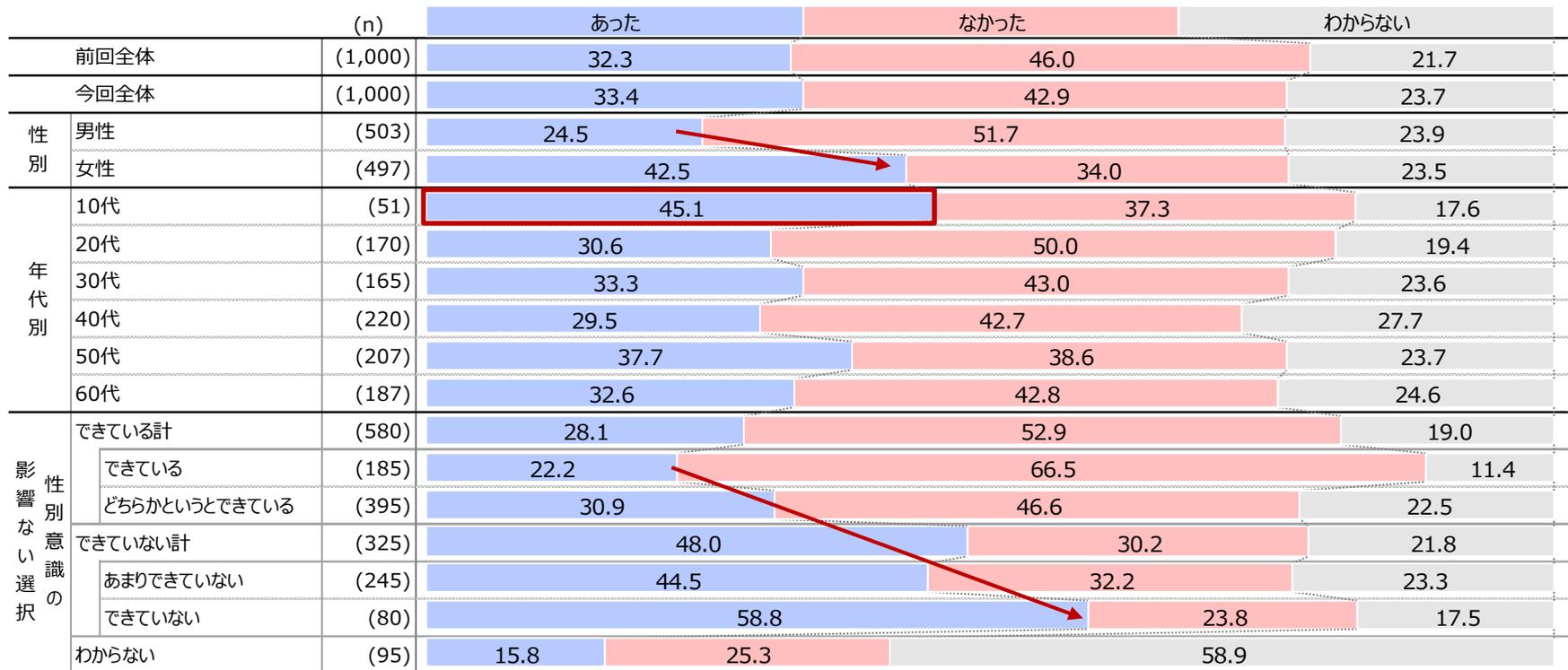
できている計：「(どちらかというど)できている」、できていない計：「(あまり)できていない」

性別の意識に影響された経験

性別に関する意識に影響されたために、働き方や暮らし方を選択できない経験が「あった」は全体の3分の1を占める。

- ▶ 性別では、女性で「あった」が4割を超え、男性を18pt上回る。
- ▶ 年代別では、10代で「あった」が4割半ばと高く、他の年代を大きく上回る。
- ▶ 性別意識の影響ない選択ができていないほど「あった」が高く、『できていない』では6割弱に達する。

Q7.あなたは、過去において、「『男だから』あるいは『女だから』〇〇すべき」といったような、性別に関する意識に影響されたために、働き方や暮らし方を選択できなかった経験はありましたか。(SA)

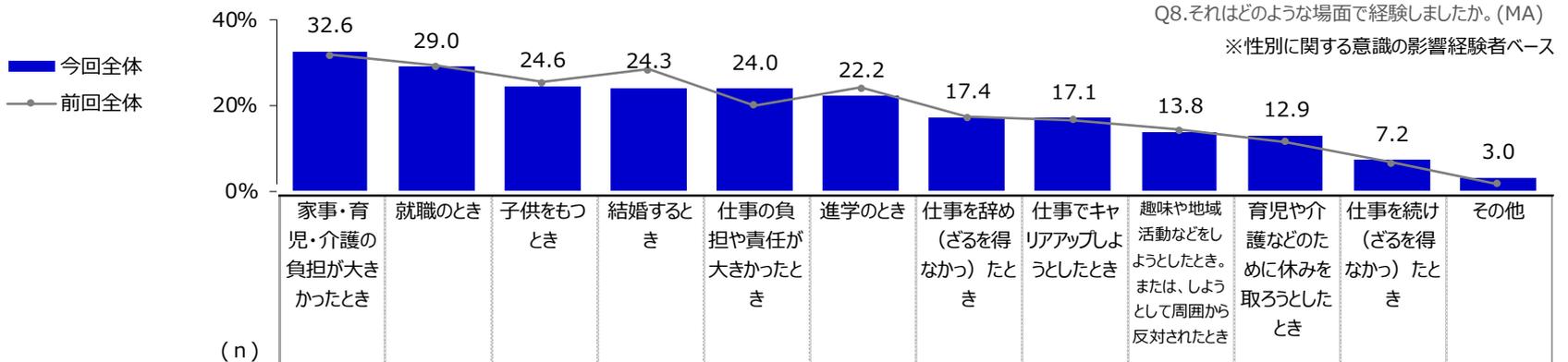


※2%未満は非表示 (%)

性別意識に影響された場面

性別に関する意識に影響され、働き方や暮らし方を選択できなかった場面は、「家事・育児・介護の負担が大きかったとき」が33%と最も高く、次いで「就職のとき」が29%で続く。

- ▶ 性別では、男性は「仕事の負担や責任が大きかったとき」が37%で最も高く女性を20pt上回る。一方、女性は「家事・育児・介護の負担が大きかったとき」が45%で最も高く、男性を32pt上回る。
- ▶ 年代別では60代、性別意識の影響ない選択では『できていない』で「家事・育児・介護の負担が大きかったとき」が半数前後と高い。



		(n)	家事・育児・介護の負担が大きかったとき	就職のとき	子供をもつとき	結婚するとき	仕事の負担や責任が大きかったとき	進学するとき	仕事を辞め(ざるを得なかつ)たとき	仕事でキャリアアップしようとしたとき	趣味や地域活動などをしようとしたとき、または、しようとして周囲から反対されたとき	育児や介護などのために休みを取ろうとしたとき	仕事を続け(ざるを得なかつ)たとき	その他
前回全体		(323)	31.9	29.4	25.4	28.5	20.1	24.1	17.3	16.7	14.2	11.5	6.5	1.5
今回全体		(334)	32.6	29.0	24.6	24.3	24.0	22.2	17.4	17.1	13.8	12.9	7.2	3.0
性別	男性	(123)	12.2	27.6	16.3	23.6	36.6	18.7	5.7	12.2	9.8	9.8	13.8	1.6
	女性	(211)	44.5	29.9	29.4	24.6	16.6	24.2	24.2	19.9	16.1	14.7	3.3	3.8
年代別	10代	(23)	4.3	8.7	8.7	4.3	17.4	47.8	8.7	4.3	30.4	8.7	4.3	13.0
	20代	(52)	21.2	42.3	19.2	23.1	23.1	34.6	9.6	9.6	19.2	7.7	7.7	5.8
	30代	(55)	32.7	25.5	40.0	27.3	27.3	12.7	16.4	25.5	12.7	12.7	9.1	1.8
	40代	(65)	33.8	33.8	26.2	21.5	26.2	13.8	21.5	18.5	9.2	15.4	9.2	3.1
	50代	(78)	32.1	24.4	21.8	30.8	25.6	15.4	20.5	17.9	9.0	14.1	5.1	-
	60代	(61)	52.5	29.5	23.0	24.6	19.7	27.9	19.7	18.0	14.8	14.8	6.6	1.6
性別意識の影響ない選択	できている計	(163)	23.9	27.6	20.2	20.2	22.7	22.1	12.3	19.6	13.5	14.1	6.7	2.5
	できている	(41)	17.1	26.8	17.1	19.5	34.1	24.4	14.6	26.8	7.3	12.2	12.2	2.4
	どちらかというできている	(122)	26.2	27.9	21.3	20.5	18.9	21.3	11.5	17.2	15.6	14.8	4.9	2.5
	できていない計	(156)	42.3	30.1	30.1	30.1	26.9	21.8	22.4	14.7	14.7	11.5	7.1	2.6
	あまりできていない	(109)	39.4	28.4	29.4	31.2	27.5	22.0	18.3	11.9	12.8	8.3	6.4	3.7
	できていない	(47)	48.9	34.0	31.9	27.7	25.5	21.3	31.9	21.3	19.1	19.1	8.5	-
わからない	(15)	26.7	33.3	13.3	6.7	6.7	26.7	20.0	13.3	6.7	13.3	13.3	13.3	

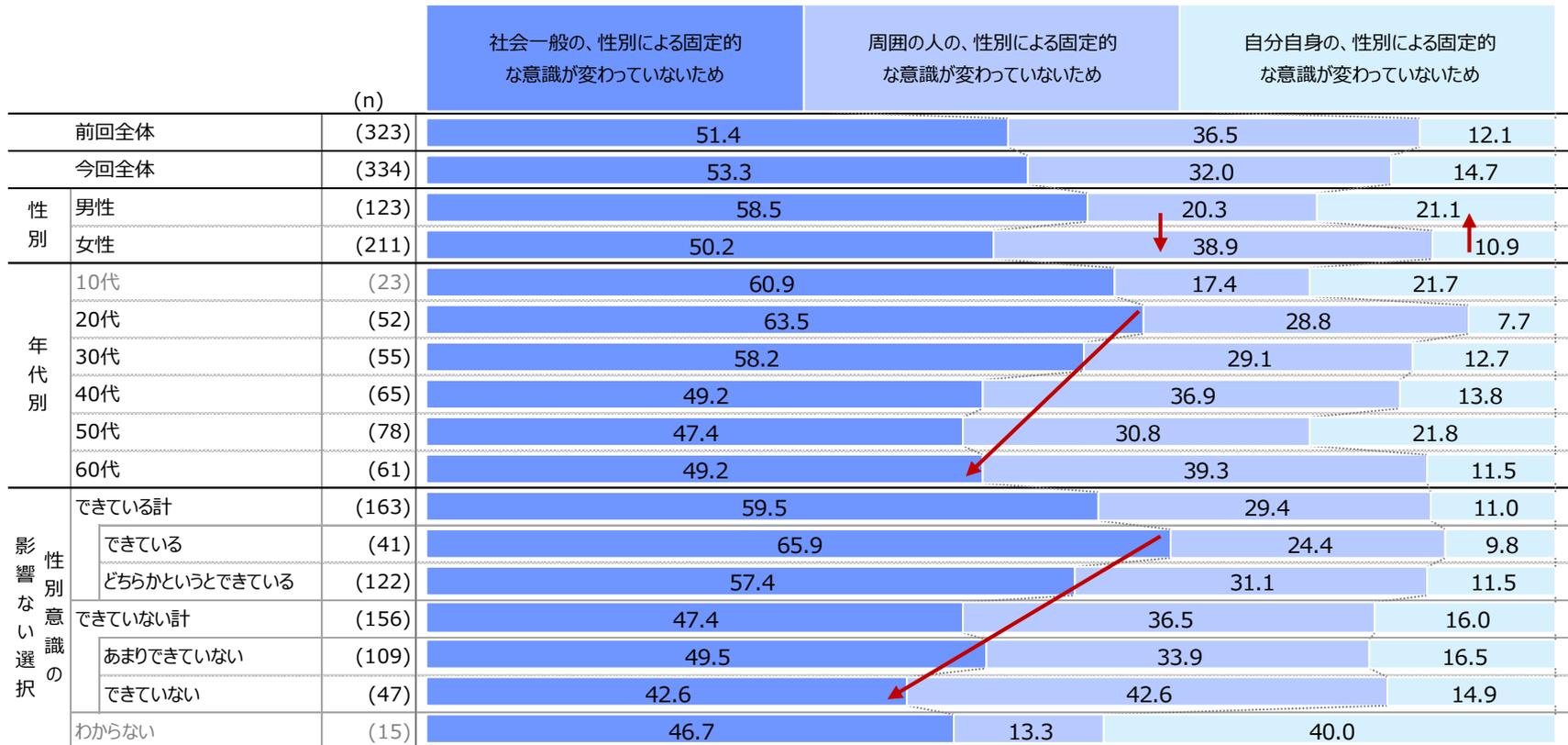
※今回全体値で降順ソート(%)

性別意識に影響された経験理由

性別に関する意識に影響されたために、働き方や暮らし方を選択できないことが「あった」理由として、「社会一般の意識が変わっていないため」が半数強を占める。「周囲の人の意識」は3割強。

- 性別では、女性で「周囲の人の意識」が4割弱と男性を19pt上回る。男性では「自分自身の意識」が2割と女性を10pt上回る。
- 年代が高いほど、性別意識の影響ない選択ができていないほど、「社会一般の意識」が減少し、「周囲の人の意識」「自分自身の意識」が増加する傾向。

Q9.それはなぜだと思いますか。(SA)
※性別に関する意識の影響経験者ベース



※2%未満は非表示 (%)

V. 結果の詳細

1. 性別に関する意識
2. **男女共同参画に関する意識**
3. ワークライフバランスについて

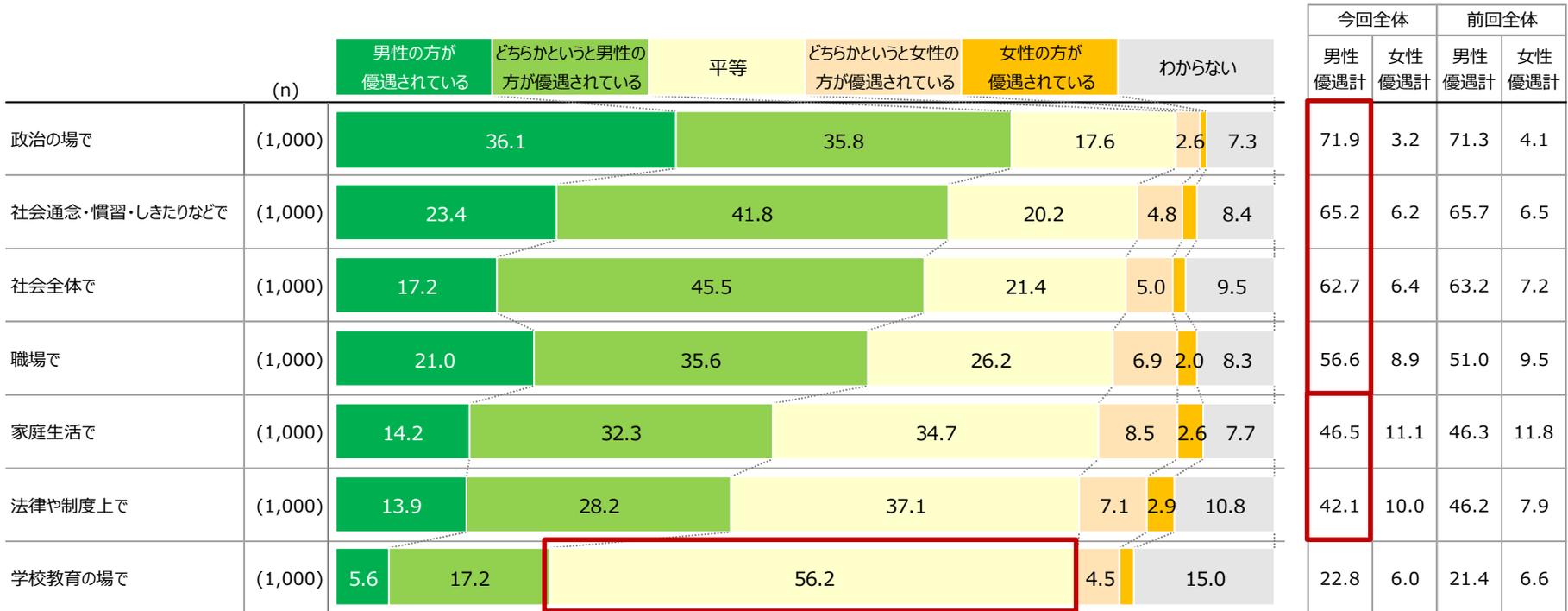
男女の地位の平等感【全体】

男女の地位について『政治の場』は7割以上、『社会通念・慣習・しきたりなど』『社会全体』は6割以上、「職場」は5割半ばが「男性優遇計」とし、「平等」は2割前後に留まる。

『家庭生活』『法律や制度上』は、「男性優遇計」は4割台で、「平等」が3割半ば、「女性優遇計」が1割強みられる。

『学校教育の場』は「平等」が5割半ばと最も高いものの、「男性優遇計」が2割強と1割未満の「女性優遇計」を上回る。

Q10.あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各SA)



今回全体（男性優遇計）で降順ソート

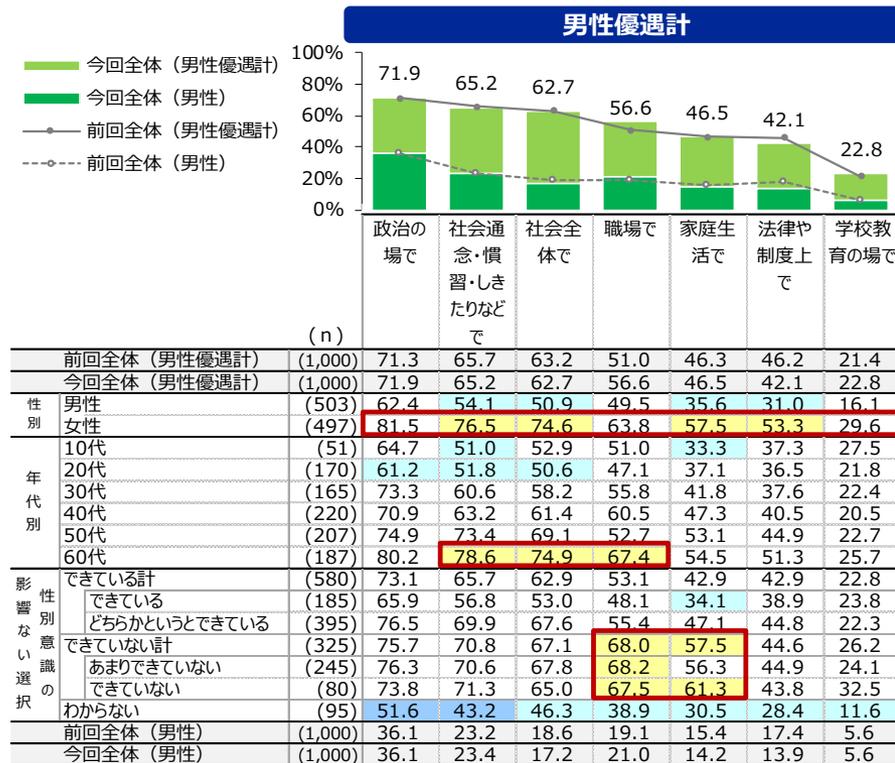
※2%未満は非表示（%）

男性優遇計：「(どちらかという)男性の方が優遇されている」、女性優遇計：「(どちらかという)女性の方が優遇されている」

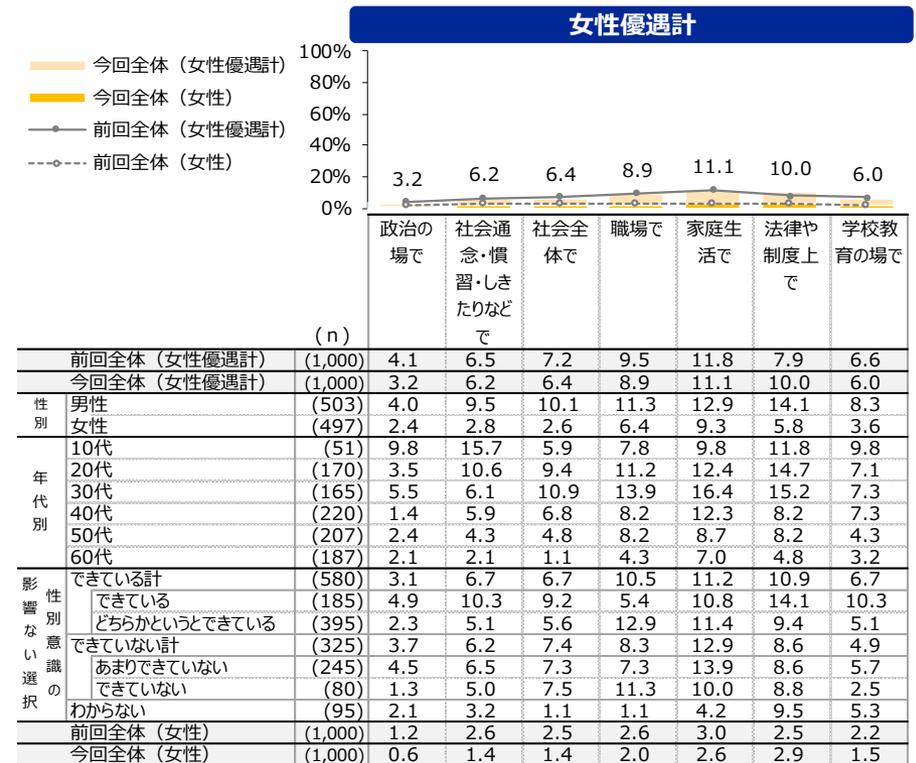
男女の地位の平等感【属性別】

- ▶ 性別では、全分野で「男性優遇計」のスコアが男性より女性で高く、女性で「男性が優遇されている」との認識が強い。
- ▶ 年代が高いほど、性別意識の影響ない選択ができていないほど、「男性優遇計」のスコアは高くなる傾向。
特に、60代では「社会通念・慣習・しきたりなど」「社会全体」「職場」で男性優遇を感じる割合が高くなっている。
また、性別意識の影響ない選択が『できていない計』では「職場」「家庭生活」で男性優遇を感じる割合が高くなっている。

Q10.あなたはここに挙げるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各SA)



※今回全体 (男性優遇計) で降順ソート(%)



※今回全体 (女性優遇計) で降順ソート(%)

「夫は外で働き，妻は家庭を守るべきである」への意見

この考えに対して、「賛成計」25%、「反対計」57%と、「反対計」が「賛成計」を大きく上回る。

- 性別では、女性で「反対計」が64%と、男性を13pt上回る。
- 年代別では、若い年代ほど「反対」の割合が高く、10代では4割強を占める。
- 性別意識の影響ない選択では、『できている』で「反対」が4割弱と高くなっている。

Q11.「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に賛成ですか。それとも反対ですか。(SA)

		(n)	賛成	どちらかという賛成	どちらかという反対	反対	わからない	賛成計	反対計
前回全体		(1,000)	3.6	21.0	31.3	24.5	19.6	24.6	55.8
今回全体		(1,000)	3.6	21.7	31.6	25.8	17.3	25.3	57.4
性別	男性	(503)	5.4	25.8	27.4	23.3	18.1	31.2	50.7
	女性	(497)	17.5	35.8	28.4	16.5	19.3	64.2	
年代別	10代	(51)	5.9	15.7	25.5	41.2	11.8	21.6	66.7
	20代	(170)	3.5	18.8	30.6	27.1	20.0	22.4	57.6
	30代	(165)	4.2	21.2	30.9	25.5	18.2	25.5	56.4
	40代	(220)	3.2	24.5	31.4	25.0	15.9	27.7	56.4
	50代	(207)	3.9	22.2	30.9	24.6	18.4	26.1	55.6
	60代	(187)	2.7	22.5	35.8	23.0	16.0	25.1	58.8
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	4.0	22.8	31.4	29.0	12.9	26.7	60.3
	できている	(185)	9.2	16.8	23.2	38.4	12.4	25.9	61.6
	どちらかというできている	(395)	25.6	35.2	24.6	13.2	27.1	59.7	
	できていない計	(325)	2.5	23.4	34.2	24.3	15.7	25.8	58.5
	あまりできていない	(245)	2.4	22.9	35.9	21.6	17.1	25.3	57.6
	できていない	(80)	2.5	25.0	28.8	32.5	11.3	27.5	61.3
	わからない	(95)	5.3	9.5	24.2	11.6	49.5	14.7	35.8

※2%未満は非表示 (%)

賛成計：「(どちらかという)賛成」、反対計：「(どちらかという)反対」

女性が職業を持つことに対する意見

女性が職業を持つことについては、「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が47%と高く、「職業を持つほうがよい計」が77%を占める。

- 性別では、女性で「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が54%と、男性を13pt上回る。
- 年代別では、60代で「子どもができて、ずっと続けるほうがよい」が58%と高く、高い年代ほど「職業を持つほうがよい計」が高い傾向。
- 性別意識の影響ない選択では、『あまりできていない』で「職業を持つほうがよい計」が9割弱と高くなっている。

Q12. 一般的に、女性が職業を持つことについて、あなたはどのように思いますか。(SA)

		(n)	女性は職業を持たないほうがよい	結婚するまでは、職業を持つほうがよい	子どもができるまでは、職業を持つほうがよい	子どもができて、ずっと続けるほうがよい	子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい	その他	わからない	職業を持つほうがよい計
前回全体		(1,000)	4.4	7.1	45.3	16.5	9.0	16.0	73.3	
今回全体		(1,000)	3.5	7.7	47.3	18.6	7.4	13.8	77.1	
性別	男性	(503)	2.6	3.4	9.9	41.0	18.9	7.0	17.3	73.2
	女性	(497)	3.6	5.4	53.7	18.3	7.8	10.3	81.1	
年代別	10代	(51)	3.9	5.9	5.9	41.2	17.6	5.9	19.6	70.6
	20代	(170)	3.5	10.0	39.4	14.7	11.8	19.4	67.6	
	30代	(165)	2.4	3.6	9.1	44.8	15.8	9.1	15.2	73.3
	40代	(220)	2.3	4.5	6.8	48.6	18.2	8.2	11.4	78.2
	50代	(207)	2.9	8.7	46.4	20.8	6.3	14.5	78.7	
	60代	(187)	2.1	4.8	57.8	23.0	2.7	8.0	87.7	
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	3.8	9.0	47.6	19.0	8.3	10.9	79.3	
	できている	(185)	3.2	5.4	7.0	43.2	16.2	11.9	13.0	71.9
	どちらかというどできている	(395)	3.0	9.9	49.6	20.3	6.6	9.9	82.8	
	できていない計	(325)	3.4	6.2	54.2	20.0	4.9	9.5	83.7	
	あまりできていない	(245)	3.7	6.1	55.9	22.0	3.3	8.6	87.8	
	できていない	(80)	6.3	2.5	6.3	48.8	13.8	10.0	12.5	71.3
	わからない	(95)	2.1	2.1	15.3	22.1	11.6	10.5	46.3	41.1

※2%未満は非表示 (%)

職業を持つほうがよい計：「結婚するまでは、職業を持つほうがよい〜子どもができたなら辞め、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」



男女の役割に対する意見【全体】

男女の役割について『家計を支えるのは男性の役割である』では「そう思う計」が5割弱で、「そう思わない計」を7pt上回る。

『育児休業は女性が取得』は、「そう思う計」と「そう思わない計」が4割半ばで拮抗。

『家事や育児は女性が』『子どもが病気になったら母親が看病』『男の子は男らしく、女の子は女らしく』は「そう思わない計」が5割台で「そう思う計」をそれぞれ18pt上回る。

『男性の方が管理職やリーダーに適している』『男性は主たる仕事、女性は補助』『女性はキャリアアップしなくてもよい』といった仕事に関する意見では「そう思わない計」が「そう思う計」を大きく上回る。

Q13.あなたは、次の考え方についてどのように思いますか。(SA)

	(n)	今回全体					前回全体			
		そう思う	どちらかという とそう思う	どちらかという と そう思わない	そう思わない	わからない	そう思う計	そう思わ ない計		
家計を支えるのは男性の役割である	(1,000)	9.5	39.7	18.1	24.0	8.7	49.2	42.1	51.8	39.9
育児休業は女性が取得したほうがよい	(1,000)	10.8	33.4	23.0	23.2	9.6	44.2	46.2	51.2	38.3
家事や育児は女性がやったほうがよい	(1,000)	4.5	32.1	24.3	30.6	8.5	36.6	54.9	38.3	53.3
子どもが病気になったら母親が看病したほうがよい	(1,000)	6.8	29.1	24.8	29.5	9.8	35.9	54.3	40.0	49.5
男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい	(1,000)	7.8	26.5	24.0	28.7	13.0	34.3	52.7	36.2	50.7
女性より男性のほうが管理職やリーダーに適している	(1,000)	4.9	17.3	28.2	33.0	16.6	22.2	61.2	22.1	61.0
男性は主たる仕事、女性は補助的な仕事をするものである	(1,000)	2.5	10.1	30.2	46.9	10.3	12.6	77.1	10.2	77.3
女性はキャリアアップしなくてもよい	(1,000)	2.1	5.5	25.8	55.6	11.0	7.6	81.4	7.4	81.1

今回全体（そう思う計）で降順ソート

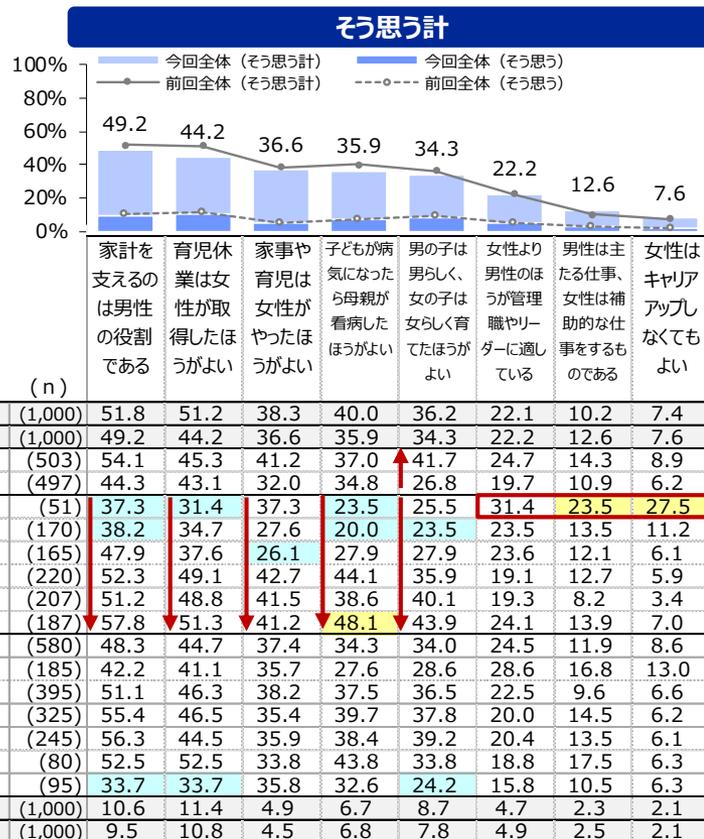
※2%未満は非表示（%）

そう思う計：「(どちらかという)とそう思う」、そう思わない計：「(どちらかという)とそう思わない」

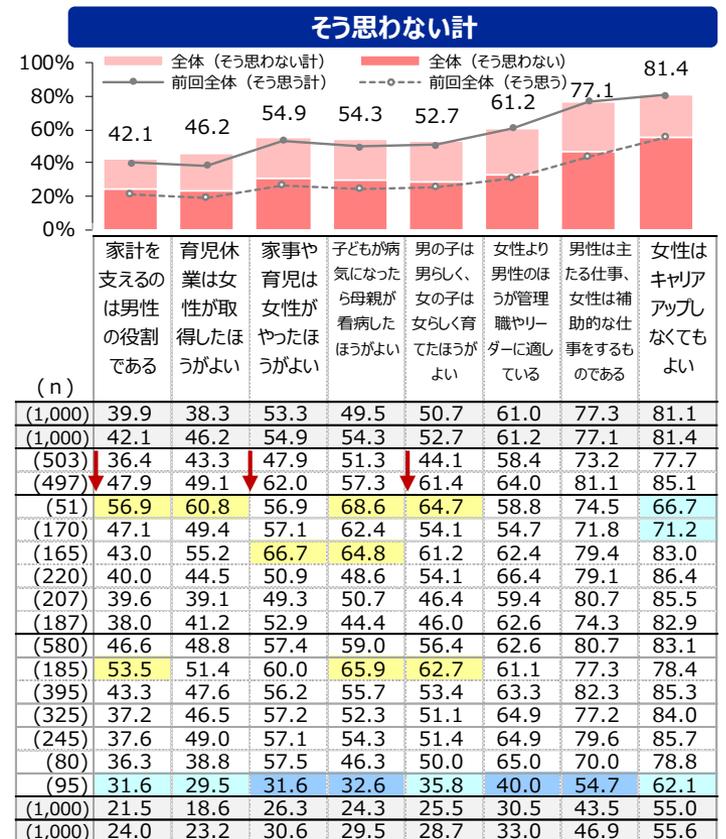
男女の役割に対する意見【属性別】

- ▶ 性別では、肯定（そう思う計）はいずれも男性で、否定（そう思わない計）はいずれも女性で高くなっている。中でも「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てたほうがよい」は男性で肯定意見が女性を10pt以上上回る。一方、「家計を支えるのは男性」「育児や家事は女性」「男の子は男らしく」は、女性で否定意見が男性を10pt以上上回る。
- ▶ 年代別では、「家計を支えるのは男性」「育児休業は女性が取得」「男の子は男らしく」など家事や育児については、高い年代で肯定意見が多い傾向。一方、「女性はキャリアアップしなくてもよい」など仕事については、10代で肯定意見が比較的高くなっている。

Q13.あなたは、次の考え方についてどのように思いますか。(SA)



※今回全体（そう思う計）で降順ソート(%)



※今回全体（そう思わない計）で降順ソート(%)

V. 結果の詳細

1. 性別に関する意識
2. 男女共同参画に関する意識
3. ワークライフバランスについて

現在の「仕事」「家庭生活」「自由時間」の優先度

「仕事」「家庭生活」「自由時間」を10としたとき、「仕事」の優先度は平均3.8。

▶ 性別では、有職者の多い男性で4.5と高く、女性を1.5pt上回る。年代別では、40～50代で4以上と高く、有職者の少ない10代および60代で3.1と低め。

「家庭生活」の優先度は平均3.6。

▶ 性別では、女性で4.1と高く、男性を1.1pt上回る。年代別では、10代で2.8と低く、60代で3.9と高め。

▶ 性別意識の影響ない選択ができていないほど高く、『できていない』では4.3と高い。

Q14.あなたの現実の生活全体を10とした場合、「仕事」「家庭生活」「自由時間」を、それぞれのくらい優先（重視）しているかの比率を、全体が10になるように、それぞれに「0」から「10」の数値をご記入ください。

		仕事									平均値	家庭生活									平均値
		(n)	0	1	2	3	4	5	6	7-10		(n)	0	1	2	3	4	5	6	7-10	
前回全体		(1,000)	13.0	6.8	8.2	15.0	12.7	16.8	11.4	16.1	3.9	(1,000)	2.7	11.7	18.5	23.3	17.5	12.9	4.2	9.2	3.5
今回全体		(1,000)	13.2	7.2	10.1	15.5	12.8	17.8	9.6	13.8	3.8	(1,000)	2.9	10.9	17.2	25.1	17.4	11.9	5.1	9.5	3.6
性別	男性	(503)	5.8	5.6	8.5	12.7	11.7	22.1	13.7	19.9	4.5	(503)	3.4	13.3	21.5	28.6	19.5	7.6	3.6	2.6	3.0
	女性	(497)	20.7	8.9	11.7	18.3	13.9	13.5	5.4	7.6	3.0	(497)	2.4	8.5	12.9	21.5	15.3	16.3	6.6	16.5	4.1
年代別	10代	(51)	9.8	9.8	19.6	23.5	19.6	5.9	3.9	7.8	3.1	(51)	7.8	9.8	25.5	25.5	19.6	7.8	3.9	2.8	
	20代	(170)	11.2	8.2	12.4	17.6	11.2	15.9	7.1	16.5	3.8	(170)	7.1	15.3	16.5	24.1	17.6	10.0	2.9	6.5	3.1
	30代	(165)	9.1	9.1	14.5	16.4	9.1	20.0	8.5	13.3	3.7	(165)	2.4	9.7	18.2	22.4	15.2	13.3	6.1	12.7	3.8
	40代	(220)	9.5	5.5	6.8	16.4	15.0	18.2	10.5	18.2	4.2	(220)	12.3	18.2	25.9	15.5	9.5	7.3	10.0	3.6	
	50代	(207)	13.0	5.3	7.2	11.6	15.0	19.3	13.0	15.5	4.0	(207)	10.1	17.4	25.1	20.8	13.0	2.9	8.7	3.6	
	60代	(187)	24.1	8.0	8.6	13.9	10.7	18.7	9.6	6.4	3.1	(187)	7.5	13.4	27.3	17.1	15.0	6.4	12.3	3.9	
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	10.3	7.9	11.9	14.3	14.3	18.8	10.3	12.1	3.8	(580)	9.8	17.6	26.0	19.5	11.9	4.8	8.4	3.6	
	できている	(185)	8.6	8.1	13.0	17.3	8.1	24.9	8.1	11.9	3.8	(185)	2.7	10.3	20.0	22.2	23.8	10.8	4.3	5.9	3.4
	どちらかというときできている	(395)	11.1	7.8	11.4	12.9	17.2	15.9	11.4	12.2	3.8	(395)	9.6	16.5	27.8	17.5	12.4	5.1	9.6	3.6	
	できていない計	(325)	15.7	6.5	7.7	15.7	12.3	18.2	8.9	15.1	3.7	(325)	12.0	16.9	23.4	15.4	12.6	6.2	12.0	3.8	
	あまりできていない	(245)	14.7	6.5	7.3	13.5	13.1	19.6	9.0	16.3	3.9	(245)	2.0	12.2	19.2	23.3	14.3	13.5	5.3	10.2	3.6
	できていない	(80)	18.8	6.3	8.8	22.5	10.0	13.8	8.8	11.3	3.3	(80)	11.3	10.0	23.8	18.8	10.0	8.8	17.5	4.3	
	わからない	(95)	22.1	5.3	7.4	22.1	5.3	10.5	7.4	20.0	3.7	(95)	13.7	13.7	15.8	25.3	11.6	9.5	3.7	2.4	2.9

※2%未満は非表示 (%)

※2%未満は非表示 (%)

現在の「仕事」「家庭生活」「自由時間」の優先度

「自由時間」の優先度は平均2.7。

▶ 年代別では、10代で平均が4.1と高くなっている。性別意識の影響ない選択ができているほど平均は高い傾向。

「仕事」「家庭生活」「自由時間」を10としたときの優先度は「仕事」が最も多く、「家庭生活」が続く。前回調査より差が縮小。

▶ 性別では、男性は「仕事」、女性は「家庭生活」が最も高い。

▶ 性別意識の影響ない選択ができているほど「家庭生活」が、できているほど「自由時間」が高くなる傾向。

Q14.あなたの現実の生活全体を10とした場合、「仕事」、「家庭生活」、「自由時間」を、それぞれのくらい優先（重視）しているかの比率を、全体が10になるように、それぞれに「0」から「10」の数値をご記入ください。

		自由時間								平均値	全体を10とした時の割合			
		(n)	0	1	2	3	4	5	6		7-10	(n)	仕事	家庭生活
前回全体		(1,000)	4.3	30.7	25.8	14.5	10.4	7.6	3.4	2.6	(1,000)	3.9	3.5	2.6
今回全体		(1,000)	3.6	29.3	22.7	17.8	11.4	7.5	3.4	2.7	(1,000)	3.8	3.6	2.7
性別	男性	(503)	4.4	32.6	22.9	17.3	10.3	6.0	6.4	2.5	(503)	4.5	3.0	2.5
	女性	(497)	2.8	26.0	22.5	18.3	12.5	9.1	6.5	2.9	(497)	3.0	4.1	2.9
年代別	10代	(51)	7.8	11.8	23.5	19.6	11.8	11.8	11.8	4.1	(51)	3.1	2.8	4.1
	20代	(170)	5.3	22.4	19.4	18.8	15.3	7.1	17.6	3.1	(170)	3.8	3.1	3.1
	30代	(165)	4.8	34.5	19.4	17.6	13.3	6.3	10.3	2.4	(165)	3.7	3.8	2.4
	40代	(220)	4.5	36.8	24.1	15.0	10.5	5.5	2.3	2.3	(220)	4.2	3.6	2.3
	50代	(207)	2.9	32.9	24.6	20.8	6.8	8.7	2.4	2.4	(207)	4.0	3.6	2.4
	60代	(187)	24.1	27.8	15.5	10.2	11.2	4.3	5.9	3.0	(187)	3.1	3.9	3.0
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	2.4	29.0	22.9	19.7	12.4	6.7	4.3	2.7	(580)	3.8	3.6	2.7
	できている	(185)	3.2	25.9	23.2	18.9	13.0	6.5	5.4	2.8	(185)	3.8	3.4	2.8
	どちらかというのでできている	(395)	2.0	30.4	22.8	20.0	12.2	6.8	3.2	2.6	(395)	3.8	3.6	2.6
	できていない計	(325)	4.3	33.8	22.8	15.4	9.8	7.4	5.4	2.5	(325)	3.7	3.8	2.5
	あまりできていない	(245)	3.3	33.9	23.3	15.9	9.0	8.2	9.3	2.5	(245)	3.9	3.6	2.5
	できていない	(80)	7.5	33.8	21.3	13.8	12.5	5.0	5.0	2.4	(80)	3.3	4.3	2.4
	わからない	(95)	8.4	15.8	21.1	14.7	10.5	12.6	3.2	13.7	3.4	(95)	3.7	2.9

※2%未満は非表示 (%)

各平均値

理想の「仕事」「家庭生活」「自由時間」の優先度

「仕事」「家庭生活」「自由時間」を10としたとき、「仕事」の理想の優先度は平均3.3。

▶ 性別では、有職者の多い男性で3.7と高く、女性を0.7pt上回る。年代別では、有職者の少ない10代および60代で3.1と低め。

「家庭生活」の理想の優先度は平均3.5。

▶ 性別では、女性で3.7と高く、男性を0.4pt上回る。年代別では、10代で低く、60代で高め。

Q15.あなたの理想の生活全体を10とした場合、「仕事」「家庭生活」「自由時間」を、それぞれのくらい優先（重視）しているかの比率を、全体が10になるように、それぞれに「0」から「10」の数値をご記入ください。

		仕事							平均値	家庭生活							平均値		
		(n)	0	1	2	3	4	5	6-10		(n)	0	1	2	3	4	5	6-10	
前回全体		(1,000)	8.7	7.2	13.9	25.5	16.5	16.2	12.0	3.4	(1,000)	2.2	6.5	13.7	28.8	26.0	15.8	7.0	3.5
今回全体		(1,000)	8.9	7.6	14.5	25.2	18.4	15.5	9.9	3.3	(1,000)	2.4	6.0	14.8	30.9	24.4	13.2	8.3	3.5
性別	男性	(503)	6.2	7.8	11.7	22.5	17.7	20.7	13.5	3.7	(503)	3.0	7.8	15.3	33.4	24.7	11.1	4.8	3.3
	女性	(497)	11.7	7.4	17.3	28.0	19.1	10.3	6.2	3.0	(497)	4.2	14.3	28.4	24.1	15.3	11.9		3.7
年代別	10代	(51)	7.8	7.8	11.8	47.1	13.7	3.9	7.8	3.1	(51)	9.8	7.8	19.6	37.3	17.6	5.9		2.7
	20代	(170)	11.2	8.2	17.1	21.2	16.5	15.9	10.0	3.2	(170)	4.1	8.2	19.4	21.2	22.4	17.6	7.1	3.3
	30代	(165)	5.5	10.9	17.6	27.3	15.2	17.0	6.7	3.2	(165)	2.4	4.8	9.7	32.1	26.1	15.8	9.1	3.6
	40代	(220)	5.5	8.2	12.3	23.6	23.2	17.3	10.0	3.5	(220)	5.0	17.3	31.4	25.5	9.5	10.0		3.5
	50代	(207)	7.7	7.2	12.1	25.1	17.9	15.9	14.0	3.5	(207)	5.8	15.5	34.3	23.2	12.6	7.2		3.5
	60代	(187)	15.5	3.7	15.5	23.0	19.3	14.4	8.6	3.1	(187)	5.9	10.2	32.6	26.7	15.0	8.6		3.6
性別意識の影響 ない選択	できている計	(580)	7.6	8.1	14.7	25.3	18.8	16.0	9.5	3.3	(580)	5.2	14.0	31.7	25.2	13.6	8.6		3.5
	できている	(185)	9.7	5.9	15.7	22.2	17.8	18.9	9.7	3.4	(185)	3.2	2.7	19.5	30.3	22.2	13.5	8.6	3.5
	どちらかという とできている	(395)	6.6	9.1	14.2	26.8	19.2	14.7	9.4	3.3	(395)	6.3	11.4	32.4	26.6	13.7	8.6		3.6
	できていない計	(325)	8.6	7.1	13.5	24.9	20.6	15.1	10.2	3.4	(325)	6.2	15.4	31.7	24.9	12.9	7.7		3.5
	あまりできていない	(245)	9.4	6.5	11.4	25.3	20.4	16.7	10.2	3.4	(245)	6.1	15.1	32.7	24.9	11.8	7.8		3.4
	できていない	(80)	6.3	8.8	20.0	23.8	21.3	10.0	10.0	3.2	(80)	6.3	16.3	28.8	25.0	16.3	7.5		3.6
	わからない	(95)	17.9	6.3	16.8	25.3	8.4	13.7	11.6	3.1	(95)	10.5	10.5	17.9	23.2	17.9	11.6	8.4	3.1

※2%未満は非表示 (%)

理想の「仕事」「家庭生活」「自由時間」の優先度

「自由時間」の理想の優先度は平均3.2。

▶ 年代別では、10代で平均が4.2と高くなっている。

理想の優先度は「家庭生活」>「仕事」>「自由時間」の順も差は縮小。現実と比べ「自由時間」が増加。

▶ 性別では、男性は「仕事」が減少し「家庭生活」「自由時間」が増加。女性は「家庭生活」が減少し「自由時間」が増加。年代別では、20～50代で「仕事」が減少し「自由時間」が増加。性別意識の影響ない選択ができていないほど、「家庭生活」が減少し、「自由時間」が増加。

Q15.あなたの理想の生活全体を10とした場合、「仕事」「家庭生活」「自由時間」を、それぞれのくらい優先（重視）しているかの比率を、全体が10になるように、それぞれに「0」から「10」の数値をご記入ください。

		自由時間							全体を10とした時の割合			理想-現実					
		(n)	0	1	2	3	4	5	6-10	平均値	(n)	仕事	家庭生活	自由時間	仕事	家庭 生活	自由 時間
前回全体		(1,000)	12.7	28.3	24.0	16.1	9.1	8.0	3.1	(1,000)	3.4	3.5	3.1	-0.5	0.0	0.5	
今回全体		(1,000)	11.9	26.5	23.5	17.7	9.6	9.0	3.2	(1,000)	3.3	3.5	3.2	-0.4	-0.1	0.5	
性別	男性	(503)	2.8	12.9	29.4	22.3	16.1	8.0	8.5	3.1	(503)	3.7	3.3	3.1	-0.8	0.3	0.6
	女性	(497)	10.9	23.5	24.7	19.3	11.3	9.5	3.3	(497)	3.0	3.7	3.3	0.0	-0.4	0.5	
年代別	10代	(51)	3.9	9.8	19.6	27.5	17.6	19.6	4.2	(51)	3.1	2.7	4.2	0.0	0.0	0.1	
	20代	(170)	2.9	12.4	20.6	25.9	14.1	11.8	12.4	3.4	(170)	3.2	3.3	3.4	-0.6	0.2	0.4
	30代	(165)	10.9	28.5	24.8	18.8	7.3	8.5	3.2	(165)	3.2	3.6	3.2	-0.5	-0.2	0.7	
	40代	(220)	11.8	31.8	23.2	18.6	6.4	6.8	3.0	(220)	3.5	3.5	3.0	-0.7	-0.1	0.7	
	50代	(207)	13.5	30.4	23.2	16.9	8.2	6.8	3.0	(207)	3.5	3.5	3.0	-0.5	-0.1	0.6	
	60代	(187)	2.1	12.8	24.6	21.9	17.1	12.8	8.6	3.2	(187)	3.1	3.6	3.2	0.0	-0.3	0.3
性別意識の影響ない選択	できている計	(580)	13.3	27.4	23.3	18.4	8.8	7.8	3.1	(580)	3.3	3.5	3.1	-0.5	0.0	0.5	
	できている	(185)	13.5	26.5	23.8	16.2	9.2	9.2	3.2	(185)	3.4	3.5	3.2	-0.4	0.1	0.4	
	どちらかというどできている	(395)	13.2	27.8	23.0	19.5	8.6	7.1	3.1	(395)	3.3	3.6	3.1	-0.5	-0.1	0.5	
	できていない計	(325)	2.2	10.5	26.5	26.2	16.9	9.5	8.3	3.2	(325)	3.4	3.5	3.2	-0.4	-0.3	0.7
	あまりできていない	(245)	10.6	27.3	26.5	17.6	8.6	7.8	3.1	(245)	3.4	3.4	3.1	-0.5	-0.2	0.6	
	できていない	(80)	3.8	10.0	23.8	25.0	15.0	12.5	10.0	3.2	(80)	3.2	3.6	3.2	-0.1	-0.7	0.8
わからない	(95)	5.3	8.4	21.1	15.8	15.8	14.7	18.9	3.9	(95)	3.1	3.1	3.9	-0.6	0.2	0.4	

※2%未満は非表示 (%)

各平均値

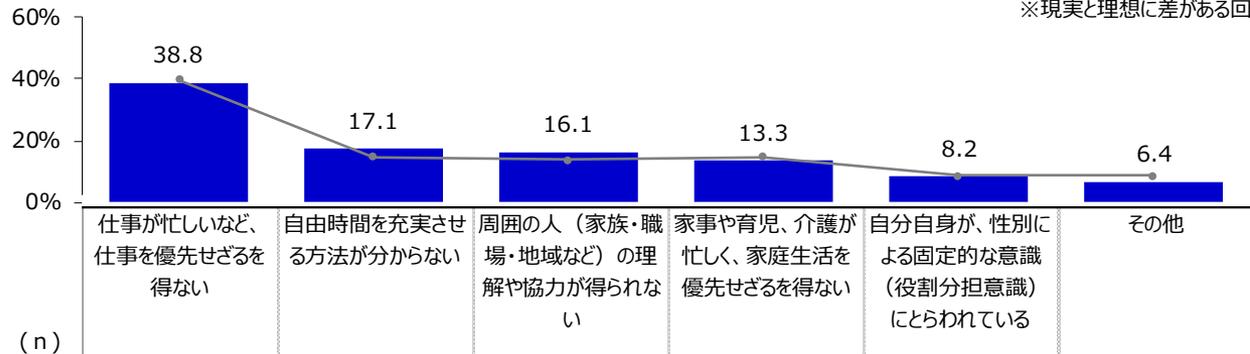
現実と理想のギャップの理由

現実と理想の生活にギャップが生じている理由としては、「仕事が忙しいなど、仕事を優先せざるを得ない」が39%で最も高い。

- ▶ 性別では、男性は「仕事が忙しい」に理由が集中。一方、女性は「家事や育児、介護が忙しい」が20%と、男性より13pt高い。
- ▶ 年代別では、10代で「自由時間を充実させる方法がわからない」も3割を超える。
- ▶ 性別意識の影響ない選択ができているほど「仕事が忙しい」「自由時間を充実させる方法がわからない」、できていないほど「家事や育児、介護が忙しい」「性別による固定的な意識にとらわれている」が高くなる傾向。

Q16. 現実と理想の生活にギャップが生じている理由は何だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。(SA)

※現実と理想に差がある回答者ベース



		(n)	仕事が忙しいなど、仕事を優先せざるを得ない	自由時間を充実させる方法がわからない	周囲の人（家族・職場・地域など）の理解や協力が得られない	家事や育児、介護が忙しく、家庭生活を優先せざるを得ない	自分自身が、性別による固定的な意識（役割分担意識）にとらわれている	その他
前回全体		(721)	39.8	14.8	13.7	14.7	8.5	8.5
今回全体		(683)	38.8	17.1	16.1	13.3	8.2	6.4
性別	男性	(331)	49.8	17.2	13.9	6.6	7.3	5.1
	女性	(352)	28.4	17.0	18.2	19.6	9.1	7.7
年代別	10代	(38)	31.6	31.6	15.8	18.4	2.6	-
	20代	(108)	41.7	25.0	21.3	6.5	2.8	2.8
	30代	(129)	35.7	14.7	11.6	18.6	12.4	7.0
	40代	(149)	43.0	13.4	16.8	14.1	6.0	6.7
	50代	(139)	48.2	12.2	12.2	9.4	7.9	10.1
	60代	(120)	25.8	18.3	20.0	15.8	13.3	6.7
性別意識の影響ない選択	できている計	(391)	42.5	16.6	16.4	12.5	6.4	5.6
	できている	(114)	43.9	17.5	17.5	11.4	1.8	7.9
	どちらかというのでできている	(277)	41.9	16.2	15.9	13.0	8.3	4.7
	できていない計	(241)	34.4	14.1	17.8	15.4	11.6	6.6
	あまりできていない	(177)	38.4	14.1	15.8	13.0	11.9	6.8
	できていない	(64)	23.4	14.1	23.4	21.9	10.9	6.3
わからない		(51)	31.4	35.3	5.9	9.8	5.9	11.8

※今回全体値で降順ソート(%)

Rakuten Insight